

介護研究にて アニマルセラピーを行う

1. 課題名 介護研究にて アニマルセラピーを行う		
2. 研究者等指名	所属 4 階	職名
	篠山美紀/ 千島 卓/ 増田 裕介	
3. 研究協力者等氏名	所属 4 階	職名
	4 階職員 全員 (介護職以外も含む)	
4. 研究等の概要		
<p>◆月に 3 回程度 介護職員の飼っている犬を連れて出勤し 犬にはフロアのゲージ内で生活してもらい ご利用者さまと同じ空間で生活を共にする時間をつくる。 (使用する犬は健康診断とワクチン接種済である。)</p> <p>◆1 日の内数回 犬をゲージからだし職員と一緒に犬と触れ合う。 (触れ合うときには 犬にリード・口輪・オムツを着用しご利用者さまには長袖の上着を着ていただき安全面に配慮する。)</p> <p>◆距離を取り 犬が遊んでいる様子を見たり ゲージ越しにおやつをあげるなど行う。</p> <p>◆企画の前後に『BTSD+Q/BPSD25Q 認知症困りごと質問票』にてアンケートを全ご利用者さま分 職員に行ってもらい検証前後を比較する。</p> <p>◆アンケートの数値の高いアレルギーのないご利用者さま (検証前にご利用者さまご家族さまにアレルギーの有無を確認) 15 人ほどピックアップしその対象者さまには特に触れ合う時間を設ける。</p> <p>◆職員やご利用者さまの反応はもちろん 面会に来られたご家族さまからもアニマルセラピーのアンケートを行い 第三者評価としての情報を得る。</p> <p>◆ふれあい時以外は ゲージの中で犬に過ごしてもらうが 手を入れることの無いようゲージの周りに柵を設け二重にして職員がそばにいるとき以外は 見ることはできるが触れることの無いよう対応する。</p> <p>◆噛むことがあってはならないがもしもの為に犬には健康診断を行い 狂犬病やワクチンを必ず接種する。(他 CAPP (アニマルセラピー) 公益社団法人日本動物病院協会の規定に準じる)</p>		

研究の期間

研究予定期間：2024年6月10日～2024年12月31日

5. 研究等の対象及び実施場所

対象者：4階ご利用者さま

実施場所：4階フロアの食堂フロア

注意事項

審査対象となる実施計画書を提出してください。

6. 研究などにおける医学倫理的配置について

(1) 研究などの対象とする個人の人権の擁護

実験結果は、他の目的に使わない。

対象者の人権及び個人情報の保護に最善を尽くす。

(2) 被験者に理解を求め同意を得る方法

すべての被験者にご利用者さまのアレルギーの有無の確認と研究を行う事を伝え 同意を取得する。

認知症対象のため すべてのご家族さまの同意を取得する。

研究への参加は自由意志によることで、参加へは自由意志で決められる。

(3) 研究などによって生ずる個人への不利益と利益または貢献度の予測

CAPPのAAA（動物介在活動）

動物と触れ合うことによる 情緒的な安定、レクリエーション、QOLの向上などを主な目的としたふれあい活動であり、一般にアニマルセラピーと呼ばれる活動として行っている事例がある。

犬によるケガなどの危険性に対し 健康診断やワクチン接種は行っており ふれあい時には リード・口輪・オムツ装着しリードを持つ側のハンドリングの講習を行った。

対象者の拒否が見られた時などは、行わない。

(4) その他

個人情報の取り扱い

本研究では、実験結果は、他の目的に使わない。対象者の人権及び個人情報の保護に最善を尽くす。同意撤回後のデータについては使用しない。

研究機関の長への報告内容及び方

研究概要を報告する。中止・終了際は研究中止・終了報告を提出する。

当科(部)での本研究の実施について承認していること、実施に際して必要な措置を講ずることを証します。

年 月 日 部署責任者: 三瓶 裕之 印